

専門教育科目

講義科目

基本/OCR

授業科目名	家族・地域社会・余暇を考える	科目コード	配当年次	単位
担当教員	木村 栄宏	FE35	—	2

科目の概要

本科目では、家族形態の変化と家族のライフサイクル、中高年期の夫婦の課題など、中高年における家族の課題について考えるとともに、中高年期の家庭経済についての基礎知識を学ぶ。また、地域社会での役割や機能、社会参加とボランティア活動という側面と、余暇活動という側面から、生きがいづくりをどのように進めていけばよいかを明らかにする。また、家庭経済プランの立て方や貯蓄、年金の基礎知識も学習する。

科目の到達目標

- ①「家族」「地域社会」「余暇」「家庭経済」について、個人的側面と社会的側面の多様な視点から理解し、自分の考えを持つことができる。
- ②社会との関わり、社会への働きかけについて考え、意見を述べることができる。

テキスト

『中高年と家族・地域社会・余暇／中高年と家庭経済』京極 高宣（監），健康・生きがい開発財団

テキストの読み方

- ①中高年における家族の問題、地域社会の役割や機能、社会参加とボランティア活動という側面と、余暇活動あるいは生涯学習という側面からの健康生きがいづくりや家庭経済プランについて、データや理論などをもとにわかりやすく読み進み、勉強することができる。
- ②常に自分はどうか考えるか、自分だったらどのように実践するか、といったことを思いながら読んでいただきたい。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。